

やつぎこうじ通信

江東区議会議員 発行:江東区議会公明党 江東区東陽 4-11-28 TEL:03-3647-3609

Vol. 14
2018.7.8



平成 30 年 6 月 14 日 一般質問

通学路の総点検・調査実施に関する緊急要望を山崎江東区長に提出

○2018年6月20日(水)「通学路の総点検・調査実施に関する緊急要望」を山崎江東区長に提出しました。

6月18日に大阪府北部を震源とする地震により、小学校の通学路沿いにあるブロック塀が倒壊し、児童が犠牲になる痛ましい事故が発生していました。

今般、大阪の事故を受け、児童生徒の尊い命を守るために、通学路を含む区内全域の総点検・調査実施を要望しました。

- ・通学路沿いにあるコンクリートブロック塀・石瓶・擁壁を建築基準法に適合した高さや基礎、控え壁設置になっているかの確認
- ・鉄筋探査機等を用いて耐震構造上重要な縦筋や横筋等の配筋を確認すること
- ・工事が必要な場合は直ちに行うこと

江東区では公共施設を確認し、通学路の総点検を行うようになりました。今後も区民の安全安心のために全力で取り組んでまいります。

平成 30 年 第 2 回区議会定例会

第 2 回定例会が平成 30 年 6 月 13 日から 7 月 2 日まで開催され、6 月 14 日に一般質問で登壇させていただきました。

一般質問では 1. 中小企業支援、2. 防災における士業の横断的なボランティア組織について、3. 安心・安全・快適なまちづくりの右 3 点について質問しました。

今後も皆様からのお声をしっかりと受け止め、取り組んでまいります。

1. 中小企業支援について
 - (1) 事業承継について
 - (2) 働き方改革等に関連して
2. 防災における士業の横断的なボランティア組織について
 - (1) 横断的なボランティア組織に対する区の見解について
 - (2) 区で行える支援について
3. 安心・安全・快適なまちづくりについて
 - (1) ユニバーサルデザインの実現に向けたまちづくりについて
 - (2) バイク駐車場の設置について

区民相談、法律相談は、お気軽に（区役所 3 階公明党相談室にて）



「みんなが笑顔で住めるまち・江東区」を目指して

皆様からのお声をしっかりと受け止め、全力で取り組んでまいります

やつぎ こうじ (矢次 浩二)

江東区議会議員

連絡先: 080-9804-9744

モバイルQRコード



メールマガジン
登録者募集中！



法律相談（但し 8 月は休止。12 月は第 2(金)のみ開催）

毎月第 2・4 金曜日に当日受付順で午後 2 時から開催しています。

ホームページ「やつぎこうじ」、または「矢次浩二 公明党」で検索

活動については、メールマガジン、HP、Facebook、Twitter で発信中！

6月
本会議

やつぎ議会質問の一部抜粋

○事業承継について

質問

本区企業の5割を占める従業員5人以下の多くの零細企業等を対象に事業引き継ぎ支援センター、よろず支援拠点などとの連携による相談体制を強化し、早期の準備を支援すべき。

答弁

東京都事業引継ぎ支援センターなどの専門家を講師としてお招きする等の交流を図りながら、連携してゆく。加えて、事業承継の早期準備に向け、国等の取り組みを踏まえ、支援について検討してゆく。

○働き方改革等に関連して

質問

様々な働き方が適正に行われるため、①地元事業者への職場環境の向上や、②使用者と労働者の双方への就業規則の周知と労働災害の啓発、③その取組みについての支援などが必要。無期転換への円滑な促進のため、事業者へのキャリアアップ助成金等の活用、きめ細やかな働き手への支援を後押しすべき。

答弁

今後、こうとう若者・女性しごとセンターでは、無期転換ルールの相談は、丁寧な説明に努めるほか、ホームページなどを活用し、広く周知してゆく。また、登録企業に対して、働き方改革等に関連し、アンケートの実施を予定。今後、結果も踏まえ、雇用支援の実施について、検討してゆく。

○バイク駐車場の設置について

質問

東京都は自動二輪車駐車場整備を進めているが、本区においても、いち早く、設置を推進すべき。

答弁

バイク駐車場の設置について、どのように考え、また今後どのように取り組んで行くか。

区は東京都道路整備保全公社が実施している自動二輪車用駐車場整備助成の申請窓口となっており、助成制度について、区ホームページや窓口で案内を行っているが、異なる周知方法について検討する。自動二輪車駐車場の必要性は認識しており、引き続き民間事業者による新規整備を促す。

○防災における土業の横断的なボランティア組織について

質問

大規模災害などへの備えとして、複雑な問題解決に向け、個々の組合や協会組織だけでなく、地元の土業、専門家による横断的な組織、ネットワークづくりが重要である。

もちろん区は主体となって動くことはできないが、東京都との協定等を鑑みながら、本区の土業による横断的な防災組織づくりに対する区の見解、また、そのような団体に対し、区として、どのような支援が行えるのか。

答弁

土業の横断的なボランティア組織の設立は、災害復興のまちづくりにおいて強力な支援を期待できることから、区としても連携体制を構築していくことが大変有効と考える。区が策定した地域防災計画をはじめ、各種資料の提供や、職員を派遣し、防災講話により情報を提供するなど、団体の自主性を尊重しつつ、側面的に設立や活動を支援することが、区の役割であると考えている。

○ユニバーサルデザインの実現に向けたまちづくりについて

質問

様々なお声を反映したまちづくりを推進するため、バリアフリー視点を持つ様々なメンバーとの協働ワークショップ活動などの拡充と、その地域の高齢者や障がい者等の方々からの声を直接受け止める取組みによって、議論の結果や要望などを可能な限り反映したまちづくりの整備を更に推進すべき。

今年度から、商店街への意識啓発の取組みと、金融機関等の窓口職員を対象にした接客研修を実施。障害をお持ちの方々の声を直接受け止め、より身近な生活の場にユニバーサルデザインを広げていくため事業化を図った。

答弁

今後も区民の声を反映させた事業を展開しながら、ユニバーサルデザインの実現に向けたまちづくりを着実に推進する。

